

事業報告書

事業年度

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

法人名 公益社団法人 心の里親会・奨学会

事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公1 児童養護施設で生活する児童への支援

1 文通事業

児童養護施設で生活する子どもたちを励ます目的で、札幌市及びその近隣市町村に所在する児童養護施設の子どもたちと文通し、実施に当たり必要な研修を次のとおり行った。

- 1) 文通を希望する子どもたちと会員が、1対1で、平均1ヶ月1回文通した。
令和4年度の文通実施延回数は約540回であった。
令和4年度は、新たに14組の子どもと会員が文通を始め、卒業や退所等により9組が文通を終了した。

- 2) 文通した児童養護施設は次のとおり。

札幌南藻園、興正学園、羊ヶ丘養護園、柏葉荘、ふくじゅ園、
天使の園、櫻ヶ丘学園（以下、「児童養護施設」と言う。）

※ 令和5年3月31日現在の文通児童数は53人、文通会員数は41人

- 3) 文通会員のつどいを次のとおり開催した。

文通の現状について話し合い、学ぶため、「第47回文通会員のつどい」を、令和4年8月26日(金)、札幌市民ホールで開催した。会員23人、児童養護施設代表7人が参加し、「文通の取り組みと現状」をテーマに、7施設代表の先生にお話しいただき、会員からの質問・感想を受け付けた。後半は講師を招き、「絵封筒作成」の講習を実施した。なお、その内容を「心の里親しんぶん第234号(5面)」に掲載した。

2 施設訪問事業

児童養護施設が主催する行事に参加し、子どもたちと交流し、その育成に寄与するために「施設訪問」を行った。実施内容は次のとおり。

なお令和4年度も感染症の流行は収束に至ってなかったが、年度後半には感染者数の減少傾向がみられるようになった。よって、児童養護施設より開催案内を受けた行事等から「施設訪問」を行った。また櫻ヶ丘学園との交流会は、感染症対策のため「札幌市円山動物園」で交流会を実施した。

- 1) 天使の園(3日間 10人)
エンゼル祭 9月23日 5人、 交流会・メモリアルデー 11月23日 3人
卒園退園式 3月21日 2人
- 2) 櫻ヶ丘学園(1日間 14人)
交流会 7月16日 14人

3 家庭実習事業

令和4年度は、文通会員宅に文通児童が宿泊して行う家庭実習は行わなかった。

4 新しい出発を励ます会事業

文通から始まる当法人の支援活動は、奨学金給与や施設訪問活動等を行い、高等学校卒業で終了する。児童養護施設を卒園し就職・進学する子ども（卒業の日まで、この法人の奨学生であった者）を対象に、「新しい出発を励ます会」を開催した。児童のこれまでの苦労と努力を労い、新しい門出を祝福・激励した。内容等は次のとおり。

なお令和4年度は、感染症対策のため会食を取りやめ、出席者を制限して開催した。

- 1) 開催 令和5年2月18日(土)、札幌サンプラザ
- 2) 参加 卒業生13人(卒業生30人の内各施設から卒業生代表2人、卒業生で文通をしていた者に限定した。)、来賓・施設関係者・会員等27人
- 3) 内容 来賓祝辞、文通していた卒業生と文通会員とのエピソード紹介
卒業生の今後の進路や決意の発表、卒業生代表の謝辞
- 4) 贈呈 新生活を始めるに当たり必要な品物を、当法人・企業・個人から贈呈した。
(ストッキング、靴下、バスタオル、爪切り、歯磨きセット)

5 小学校入学祝寄贈事業

児童養護施設に在籍中で、令和5年4月から小学校1年生に就学する児童に、通学に必要な品物を3月1日に次のとおり寄贈した。

- 1) 寄贈品 通学用の靴、筆入れ、鉛筆、消しゴム、靴下
- 2) 寄贈先 札幌南藻園4人、興正学園2人、羊ヶ丘養護園3人、柏葉荘4人、
天使の園1人、櫻ヶ丘学園2人 合計16人、(ふくじゅ園は入学者なし)

6 クリスマスプレゼント寄贈事業

令和4年度は、クリスマスの頃、児童養護施設の子どもたちに生活用品を寄贈するこの事業は行わなかった。

7 展覧会事業

児童養護施設の子どもたちが、展覧会に出品する作品制作に努力し、或いは、作文を書きいろいろなことを見つめるなど、展覧会事業参加を通じ子どもたちが成長する機会を与えることを目的としてこの事業を行う。併せて、展覧会で大勢の方に子どもの作品を観て頂き、児童福祉や子どもの教育について、改めて考えて頂く機会になることを期待しこの事業を行う。令和4年度は次のとおり。

1) 募集と応募

令和4年8月、児童養護施設に対し「絵画展及び書道展並びに作文コンクール」の開催を知らせ、出品を勧めたところ次のとおり応募があった。

①絵画展 67人 ②書道展 37人 ③作文コンクール 13人

2) 審査会を開催し優秀作品を選考した。審査員と審査内容は次のとおり。

- ①絵画展 令和4年10月4日(火)開催。 審査員 阿部 宏行 氏
優秀作品16点を選考
- ②書道展 令和4年9月29日(木)開催。 審査員 大上 凌胡 氏
優秀作品12点を選考
- ③作文コンクール 審査員 渡邊 知樹 氏
優秀作品3点を選考

選考理由を、展覧会場に掲示した他、「表彰式」で審査員が講評、「心の里親しんぶん第234号」に掲載した。

3) 展覧会開催

次のとおり、絵画・書の展覧会を開催した。

令和4年10月19日(水)～20日(木) 道庁1階 道政広報コーナー(入賞作品)

令和4年11月1日(火)～6日(日) 札幌市地下街オーロラタウン(全作品)

4) 表彰式開催

優秀作品の表彰式を次のとおり開催した。

①開催 11月12日(土)、札幌市民ホール

②参加 66人(受賞者 17人 来賓、施設関係者、会員他 49人)

③内容 表彰、お祝いの言葉、入賞者代表の言葉、第一席作文朗読、

④入賞者に賞状と楯を、選外の子どもには賞状を、そして応募者全員に
参加賞(筆、原稿用紙、絵の具、菓子、飲料等)を出賞した。

8 広報事業

1) 心の里親しんぶん発行

①発行期日 233号(7月15日)、234号(1月15日)

②発行部数 各号とも1,300部

③主な内容 実施した事業の報告、法人からのお知らせなど

④配布先 公共施設、支援者、他

2) ホームページ

①内容 法人紹介、活動報告、情報公開、

②更新状況 7月 1日 心の里親フェア開催のお知らせ

10月17日 児童絵画展・書道展開催のお知らせ

他、令和3年度事業報告・決算報告・令和4年度事業計画・収支予算を
公開した。

9 心の里親フェア開催事業

児童養護施設を対象に行っている活動を知らせ、支援を求める目的で、次のとおり
この事業を開催した。

1) 開催 7月30日(土)、午前11時～12時 札幌市民ホール会議室

2) 内容 展示、手作り品販売、心の里親しんぶん等の配布、

3) 参加 来客等含め約150人

10 活動報告会事業

令和4年度は、法人の活動内容について報告するこの事業は行わなかった。

11 奨学金給与事業

児童養護施設で生活し、高等学校等で修学する子どもたちに、奨学金を給与した。
修学にかかる経済的負担を軽減し、勉強や部活に励み、将来を担う立派な社会人にな
ることを願い、次のとおり行った。

1) 募集 令和4年3月14日、児童養護施設代表に令和4年度奨学生の募集につい
て説明し応募要領と応募に必要な書類を配布した。

2) 選考 6月2日(木)、奨学生選考委員会を開催、書類審査により応募者95人を
理事会に推薦した。

- 3) 認定と通知 6月7日(火)「令和4年度第2回理事会」で、奨学生応募者95人を令和4年度奨学生として承認し、その旨を通知した。
- 4) 奨学生 学校は、全日制58人、定時制3人、高等養護学校26人、通信制・単位制8人
学年別は、1学年32人、2学年30人、3学年33人、
(但し、以上の人数には、前年度も奨学生であり、引き続き更新し奨学生になった者を含む。)
- 5) 奨学生認定式・奨学金授与式開催
①開催 6月25日(土)札幌市民ホール
②参加 初めて奨学生になった札幌市内、北広島市及び仁木町の児童養護施設の奨学生(20人)
③内容 会長訓示、奨学生選考委員長挨拶、奨学生認定書交付、今年度の奨学金の給与
- 6) 辞退
児童養護施設から退所により、次のとおり辞退があった。
6月2人、7月2人、9月1人、11月1人、1月1人(合計 7人)
- 7) 給与 奨学金(年間1人3万円)を一回で給与。
① 給与日 6月25日 給与人数93人

収 1 前売券販売

この法人への支援をお願いするためのこの事業、令和4年度は大通公園での“福祉協賛さっぽろ大通ピアガーデン”は例年の規模を縮小して実施されたが、前売券販売自体はビール会社の判断で行われなかった。

(参考)

全事業の活動延人数と活動延時間(支部活動報告より)

公益事業	820人	1488.5時間
収益事業	1人	1.0時間